みどりの学びエリア
・自ら学ぶ子ども
・心身ともに健康で思いやりのある子ども
・規範意識を身につけ自立した子ども

高三小だより

令和５年１０月３１日発行
（令和５年度 第８号）
板橋区立高島第三小学校
校　長　森垣　真由美
住　所　高島平4-21-1
電　話　(3938)5173

次世代を豊かに生き抜くプログラミング教育

副校長　青木　昌智

校庭の木々の葉が色付き、日一日と秋の深まりを感じます。
久しぶりに人数や時間制限が緩和された中、秋季大運動会が実施されました。１０月には１・２・３年生の学習発表会が行われ、続いて４・５・６年生の学習発表会が行われます。子どもたちの成長や瞳輝く姿は見ている側に大きな感動を与えます。

現学習指導要領が平成２９年に告示され６年が過ぎようとしています。学習指導要領は、社会情勢や社会の変化に対して、概ね１０年に一度改定される日本の教育の基準を示したものです。改定数年前から、「小学校の外国語活動が教科になる」とか「道徳が特別な教科になる」などの話が伝えられてきました。現在も次期改定に向けてこのような話がはじまっています。教科になるということは、教科の内容の「定着」が求められます。そのような中、「小学校プログラミング教育の必修化」という文言が注目され進んできました。改定後は小学校英語や特別な教科 道徳より注目されたといっても過言ではありません。今の子どもたちが社会で活躍する時代は、科学技術の進展に伴い今以上にＡＩ（人工知能）やロボット、インターネット活用が進行することは容易に推察されます。そのとき、コンピュータに使われるのではなく、コンピュータを使うことで、より安心・安全に豊かな生活ができることを目指し、プログラミング教育が導入されています。コンピュータの機能を最大限発揮させるのは、人間が入力するプログラミングであることを小学校のうちから体験させます。そのことが、予測不可能といわれる高度情報社会に生き抜く資質を培うと期待されます。
１０月には、５・６年生がコントローラーを使ったり、プログラミングしたりして、ドローンを操縦しました。さらに６年生は、プログラミングされたドローンがこれからの未来、どのように有効活用できるかを考えました。授業を参観して、東京２０２０大会の開会セレモニーでのドローン連体を思い浮かべたところでした。
家庭科で調理実習をするから調理士になるわけではないように、プログラミング教育に取り組んでいるからプログラマーやシステムエンジニアを育成するわけではありません。人工知能の社会導入、モノとモノがインターネットで繋がる時代に活躍する子どもたちには、プログラミングは「読み・書き・計算」同様、第四のリテラシーに成り得ると推察します。TRY＆ERROR で高める論理的思考、論理的思考から創造的思考への高まりは、子どもたち自身が体験することで実感するはずです。今後、教育現場では各教科の授業時数との関連からもプログラミングの学習が実践、展開されると思います。
プログラミング教育は、従来の画一的な学習スタイルから脱却した授業改善を後押しするものとも考え、教師自身も授業改善を行っていかなければなりません。

体操着、上履き、校帽の新たな販売店について

学校側のヤマヤシステムさんが今後、学用品の販売を行いませんので、代わりに
○**体操着、上履き**は(株)イズミヤさんのものを**《セブンイレブン板橋高島平８丁目店》**で
○**校帽**は新たに**《イオンスタイル板橋》**で購入が可能となりました。